



池の子通信

～あいさつで笑顔あふれる みんな仲よし池田小～

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

1 はじめに

本年度の調査は、5月27日（木）に実施され、本校の6年生も参加しました。その結果が8月末に学校に届き、分析を行いましたので、その概要を保護者や地域の皆様にお知らせします。

2 調査の概要

(1) 教科に関する調査

国語と算数です。一昨年度より、基礎的・基本的な内容の「A問題」と、文章題等による応用力等を試す「B問題」に分かれての出題ではなく、知識と活用（応用）を一体的に問う問題になりました。

(2) 質問紙による調査

学習への意欲、学習の方法、学習環境、生活の様子等、子どもたちの学習や生活・意欲に関する質問紙による調査です。今回は、コロナに係る昨年度の臨時休校時の様子についての質問もありました。

3 教科における本校の状況

【国語】

◎全体的に平均正答率は全国及び県平均を上回りました。（○：よかったところ △：課題のあるところ）

○特に全国平均を上回ったのが「目的に依り、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」「目的や意図に依り、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」「文の中における主語と述語との関係を捉える」問題でした。説明や解説文などの文章を比較して読み、分かったことや考えたことを話し合ったり文章にまとめたりすることが優れている傾向にあります。

○本調査は問題に対して「選択」「短答」「記述」の3パターンで回答しますが、本校では特に「記述」による回答が全国平均を大きく上回りました。

△「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える」問題が、県平均は上回りましたが、全国平均とはほぼ同等の正答率でした。

【算数】

◎全体的に平均正答率は全国平均とはほぼ同等で県平均は上回りました。

○特に全国平均を上回ったのが「速さと道のりを基に、時間を求める式に表わす」「三角形の面積の求め方について理解している」「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述する」問題でした。図形の面積の求め方をしっかり理解している傾向がうかがえます。

○回答形式では国語と同様、特に「記述」による回答が全国平均を大きく上回りました。

△「棒とグラフから、数量を読み取る」「データを二次元の表に分類整理する」「小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する」問題が、全国及び県の正答率を若干下回りました。

4 教科における主な改善点

【国語】

*言葉の使い方について、修飾と被修飾の関係を正しく理解するために、文章を書くときには、主語・述語も含めて語句の関係をきちんと理解した上で、内容が伝わりやすいような分かりやすい文章を書くように指導していきます。

*漢字の読み書きについては引き続き正しく覚えると共に、習った漢字を、ノートをとるとき、学習感想を書くとき、連絡帳を書くとき等、生活に生きる形で正しく使うことができるように指導していきます。

*「書く」ことについては、低学年からの積み重ねで抵抗がなくなってきましたので、引き続き、文章を書く目的や、自分の伝えようとしている内容に依り、書く順序など文章全体の構成を考える指導を行っていきます。さらに、文章の中心となる所を明らかにしてまとめることや、自分の考えの理由を明らかにして書くことの大切さも丁寧に指導していきます。

【算数】

- *身の回りの事象について、統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることができるように指導していきます。
- *算数の学習では、数量の關係に着目し、式に表して計算したり、計算を日常生活に生かしたりすることが重要です。商が1より小さい場合でも、被除数と序数の關係を捉え、併せて「基準量を1としたときに幾つにあたるか」という倍の意味も捉えることができるよう粘り強く指導していきます。
- *基本的な計算や公式に当てはめての計算についてはこれからも繰り返しの指導をしていきます。
- *算数においても「書く」ことは大切です。なぜそういう考え方をしたのか自分の考えをきちんと説明し、書くことができるよう引き続き指導していきます。

5 質問紙調査の主な特徴

〈学校生活〉

- 「人が困っているときは進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」「学校に行くのが楽しい」といった、学校生活の基本について肯定的に受け止めている児童が多い傾向が見られ、素直でまじめな子どもたちの様子がうかがえました。
- 「国語・算数の勉強は大切」「国語・算数の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」と回答した児童も多く、日々の授業に真剣に取り組んでいる様子がうかがえました。
- 「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」についての回答も全国平均を上回っており、自己肯定感をもち、目標をもって前向きに考え取り組む本校の児童の様子がうかがえました。

〈家庭生活〉

- 平日の家庭学習の時間は、「30分以上1時間未満」と回答した児童が一番多く、次いで「1時間以上2時間未満」でした。いずれも全国平均を上回っていました。
- 「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている・起きている」についての回答も全国平均とほぼ同程度で、規則正しい生活をしていることがうかがえました。
- 平日の読書の時間は、「10分以上30分未満」と回答した児童が一番多く、次いで「30分以上1時間未満」でした。これも全国と比較して高い割合でした。
- △平日のゲームをしている時間は、「1時間以上2時間未満」と回答した児童が一番多く、次いで「2時間以上3時間未満」でした。これは、全国と比較して多い割合でした。

〈昨年度の臨時休校期間中の様子〉

- 「休校期間中の勉強について不安を感じた」児童の割合は全国と同様多かったのですが、そういった状況下でも「計画的に学習を続けた」「規則正しい生活を送った」児童や、課題で分からないことがあっても「自分で調べた」児童が多くご家族のご協力のもとしっかり過ごすことができた様子がうかがえました。

6 質問紙調査からの改善点

- *基本的な生活習慣は概ね良好でした。改善を要する状況については、家庭と連携してより良い生活が送れるように粘り強く取り組んでいきます。
- *ゲームの時間については、家庭学習や読書の時間とも関連させ、さらに西中学校区の小中連携教育も踏まえる中で、家庭と更に連携を図り指導をしていきます。

7 今後の取組

- 全校体制として、まずは子どもたちが動き出したいくなるような「課題」を設定し、その解決のための「見通し」をもち、子どもとの対話や話し合い活動などを効果的に取り入れて主体的に参加できる授業を展開します。そして最後には「見通し」に対応する「振り返り」ができる授業を一層推進していきます。（これが県教委が勧める「やまなしスタンダード」、市教委が勧める「甲府スタイル」の授業です）
- 引き続き、児童一人一人の居場所を大切に、自己有用感をもてるような生徒指導を行っていきます。
- 宿題、自主学習など、各学年の課題に応じた内容で、日々の授業の振り返りや、高学年では予習もできるように、今後も家庭と連携して取り組んでいきます。ご協力をよろしくお願いいたします。
- ◆本調査に参加した6年生には、個別懇談の時に、個人票を基に具体的に課題等についてお話をさせていただきます。

